

証券コード：8132(東証プライム)

2025年6月22日



# AGENDA

- 会社概要
- 主要事業
- その他事業
- 2025年3月期 業績ハイライト
- 2026年3月期 業績予想
- 株主還元
- 今後の方針

# 01

## 会社概要

## 創業98年のLPガス・石油製品の販売会社などを中心とするグループ企業

会社名	シナネンホールディングス株式会社 (東証プライム8132)
所在地	東京都品川区東品川一丁目39番20号
代表者	代表取締役社長CEO 中込 太郎
資本金	156億3,000万円
創業	1927年4月11日 創業 <b>98</b> 年
従業員数	<b>3,454</b> 名(連結:臨時従業員含む)
グループ会社	連結子会社 <b>32</b> 社、関連会社 11社
事業内容	LPガス・石油・電気など様々なエネルギーの販売事業を中心に、住まいと暮らしのサービスなどその他事業で構成される企業グループ

2025年3月31日現在

# Mission

ミッション

エネルギーと住まいと暮らしのサービスで  
地域すべてのお客様の快適な生活に貢献する

# Value

バリュー 3つの礎

信義

社会的責任の  
実践

進取

新たな価値の  
創造

楽業

こころ豊かな  
行動

## 「煉炭」「豆炭」をルーツとするエネルギー界への挑戦



煉炭は明治中期、豆炭は大正中期に、それぞれ日本人によって発明された固形燃料です。

当時、家庭燃料の主役だった薪と木炭に代わる固形燃料として、当社グループはいち早く目を付けました。時代をとらえる、革新と挑戦のDNAは、変わりません。

品川燃料

▶ シナネン

# 時代の変化に合わせてエネルギー事業を軸に展開

1927年～

煉炭・豆炭など  
固形燃料の  
日本最大のメーカー  
として創業



1950年代～

石油・ガスを  
取り扱う日本屈指の  
総合燃料商社へ



2000年代～

システム事業や  
建物維持管理事業  
電力事業など  
多角化を推進



2015年～

脱炭素社会の  
実現に向けた  
新たな挑戦へ



# エネルギー事業を柱に、3つのセグメントで事業を展開

## エネルギー卸・小売周辺事業

LPガス/都市ガス



家庭向け電力



ミライフ西日本、ミライフ、ミライフ東日本ほか

## エネルギーソリューション事業

石油



法人向け電力



シナネンほか

## 非エネルギー事業

建物維持管理



シナネンアクシアほか

シェアサイクル



シナネンモビリティPLUS

自転車



シナネンサイクル

環境・リサイクル



シナネンエコワーク

抗菌



シナネンゼオミック

システム



ミノス



## 中込 太郎(なかごめ たろう)

1973年4月9日生まれ  
神奈川県 出身

### PROFILE 経歴

- 1997年 4月 当社 入社
- 2010年 4月 ミライフ株式会社 営業統括部長
- 2012年 2月 株式会社インデス 代表取締役社長
- 2018年 5月 株式会社インデス 代表取締役社長  
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2020年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長  
兼 株式会社インデス 代表取締役社長  
兼 株式会社ユテックス 代表取締役社長
- 2021年 6月 タカラビルメン株式会社 代表取締役社長
- 2023年10月 シナネンアクシア株式会社 代表取締役社長
- 2024年 6月 当社 代表取締役社長(現在)

## 業績回復に向けた事業改革を推進



# 脱炭素社会の実現に貢献する 総合エネルギー・ライフクリエイト企業グループ

成長戦略

ii

リテールサービス  
戦略の強化

i

国内事業基盤の  
再整備

iii

新たな事業への  
取組み

経営基盤強化

人財育成と風土改革の推進  
(最重要施策)

業務・資産効率性向上

基盤

エネルギー事業会社としての責務(安定供給、保安管理)

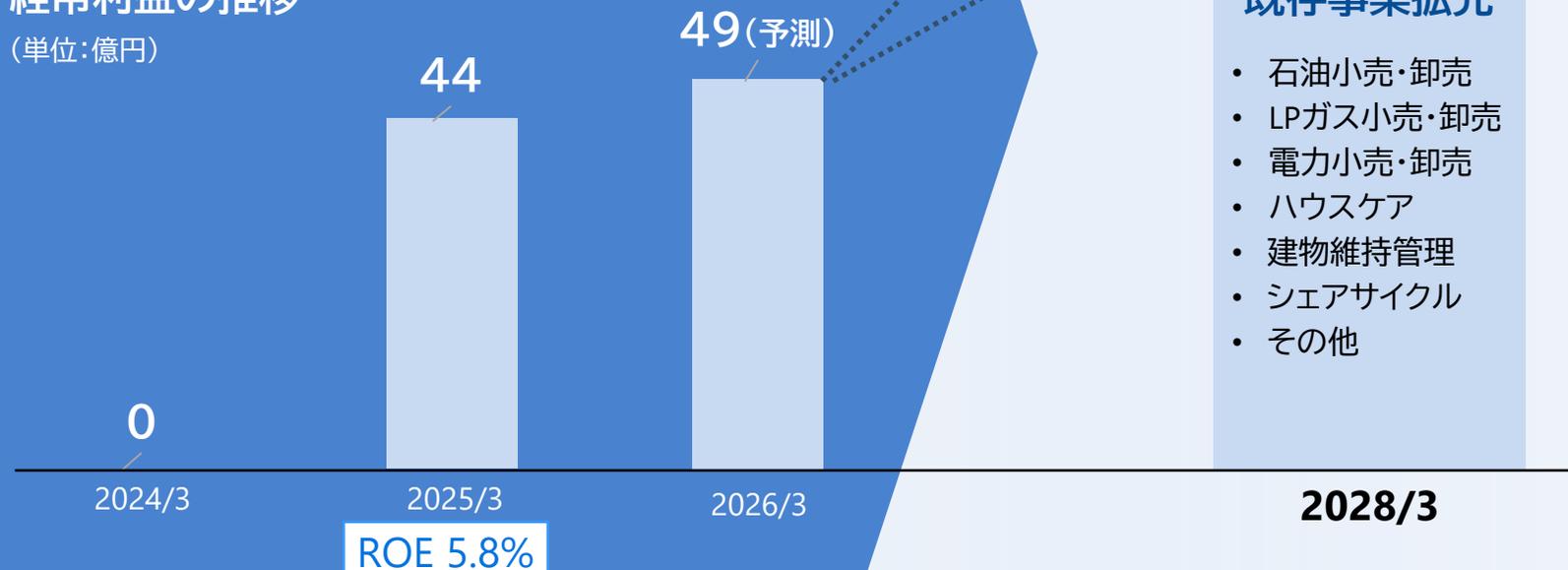
# 創業100周年に向けて更なる飛躍・躍進

## 第三次中期経営計画

2023年度～2027年度

### 経常利益の推移

(単位:億円)



ROE 5.8%

### 財務目標

ROE

**8%以上**

経常利益

**100**億円

### 非財務目標

- 脱炭素社会に対応した事業構造への転換
- 社員の市場価値の向上

# 02

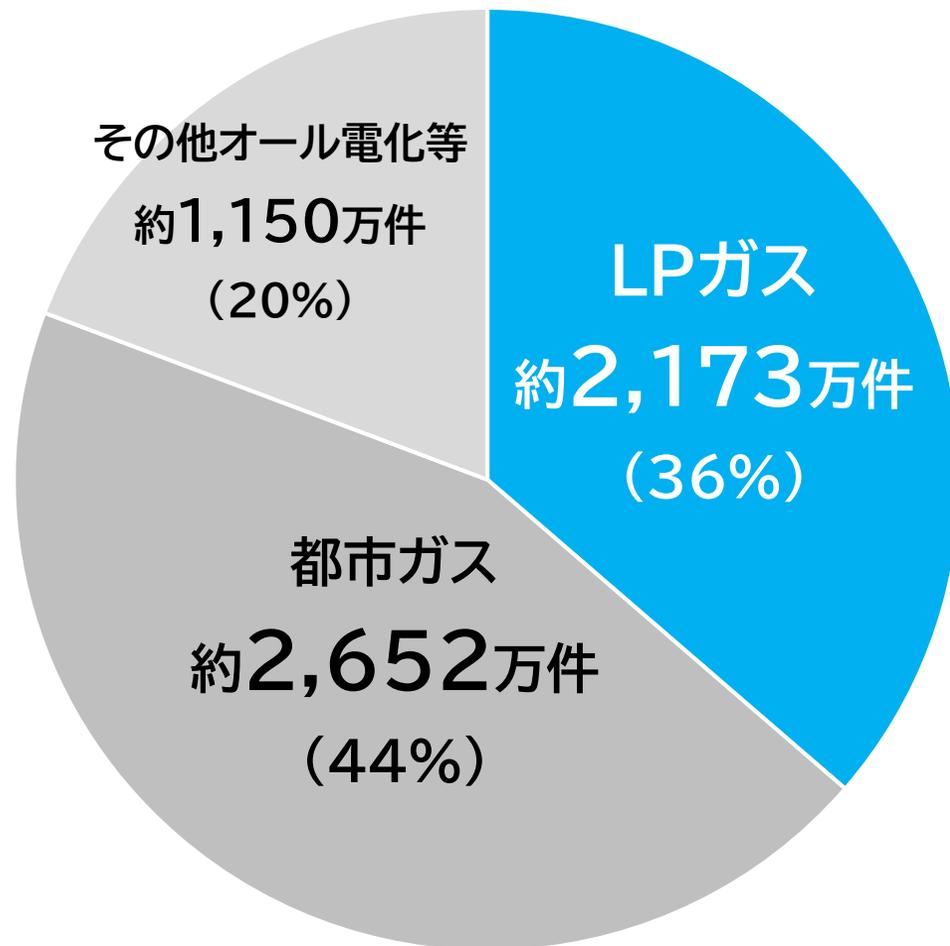
## 主要事業

	主要子会社	事業領域	事業内容
エネルギー 卸・小売周辺事業 (BtoC事業)	 ミライフ西日本  ミライフ  ミライフ東日本	石油/LPガス 都市ガス 卸小売・電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近畿／中部／北陸エリアで石油・LPガスの卸小売事業やリフォーム・住宅設備サービス提供</li> <li>■ 関東エリアで展開、水回りリフォーム専門店も北海道・東北エリアで展開</li> </ul>
エネルギー ソリューション事業 (BtoB事業)	 シナネン SINANEN	石油類卸売 電力卸売 省エネ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内事業者に対し、石油／LPガス／電力の卸小売事業やエネルギーコスト削減コンサルティングサービスを提供</li> </ul>
非エネルギー事業	 シナネンサイクル SINANEN	自転車製造・小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関東／東北エリアで小売店「ダイシャリン」を展開</li> <li>■ 企画・製造から専門店やHC等への卸売りも</li> </ul>
	 SINANEN MOBILITY シナネンモビリティ+	シェアサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 首都圏を中心に自治体、CVS、不動産会社等と連携し、シェアサイクル事業を展開</li> </ul>
	 シナネンエコワーク SINANEN	廃棄物処理 リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関東の事業者に対し、廃棄物処理・リサイクル後(木質チップ精製)電力・熱のバイオマス燃料を製造・販売</li> </ul>
	 Zeomic	化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日米欧アジアの事業者に対し、銀系無機抗菌剤Zeomicの製造・販売サービスを提供</li> </ul>
	 MINOS	ITシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内LPガス／電力小売事業を営む事業者に対し、顧客管理システムを提供</li> </ul>
	 シナネンアクシア SINANEN	建物維持・管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関東／東海エリアでビル・病院・斎場・集合住宅等の維持・管理・運営・清掃・各種工事サービスを提供</li> </ul>

# LPガス事業

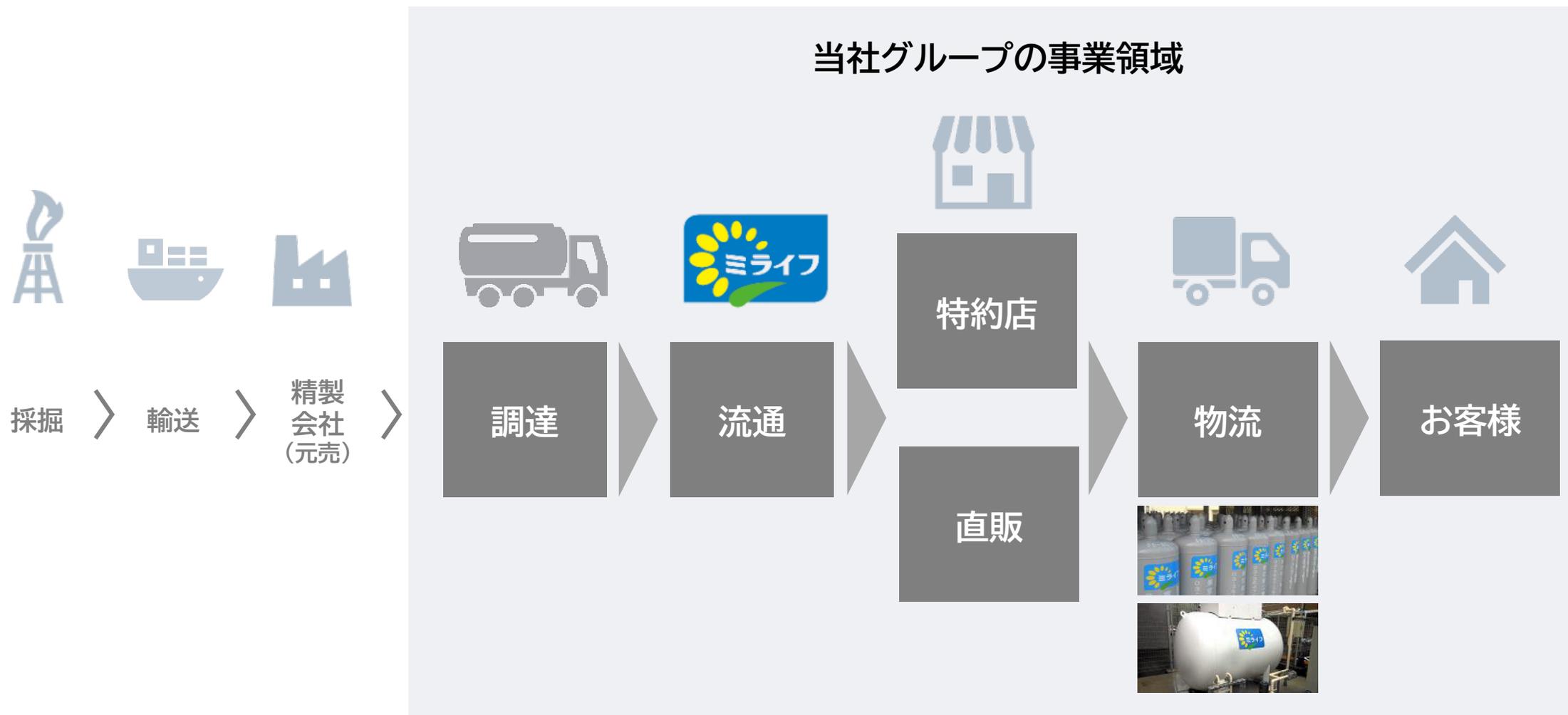
## 根強い需要家比率(3割強)

LPガス、都市ガス等の需要家数の割合  
(令和4年3月末時点)



経済産業省 2024年4月「総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会 石油・天然ガス小委員会 液化石油ガス流通ワーキンググループ 中間とりまとめ」より

# 家庭用から業務用までLPガスを販売



## 安定的な取扱量を維持

LPガス取扱量

約50万t

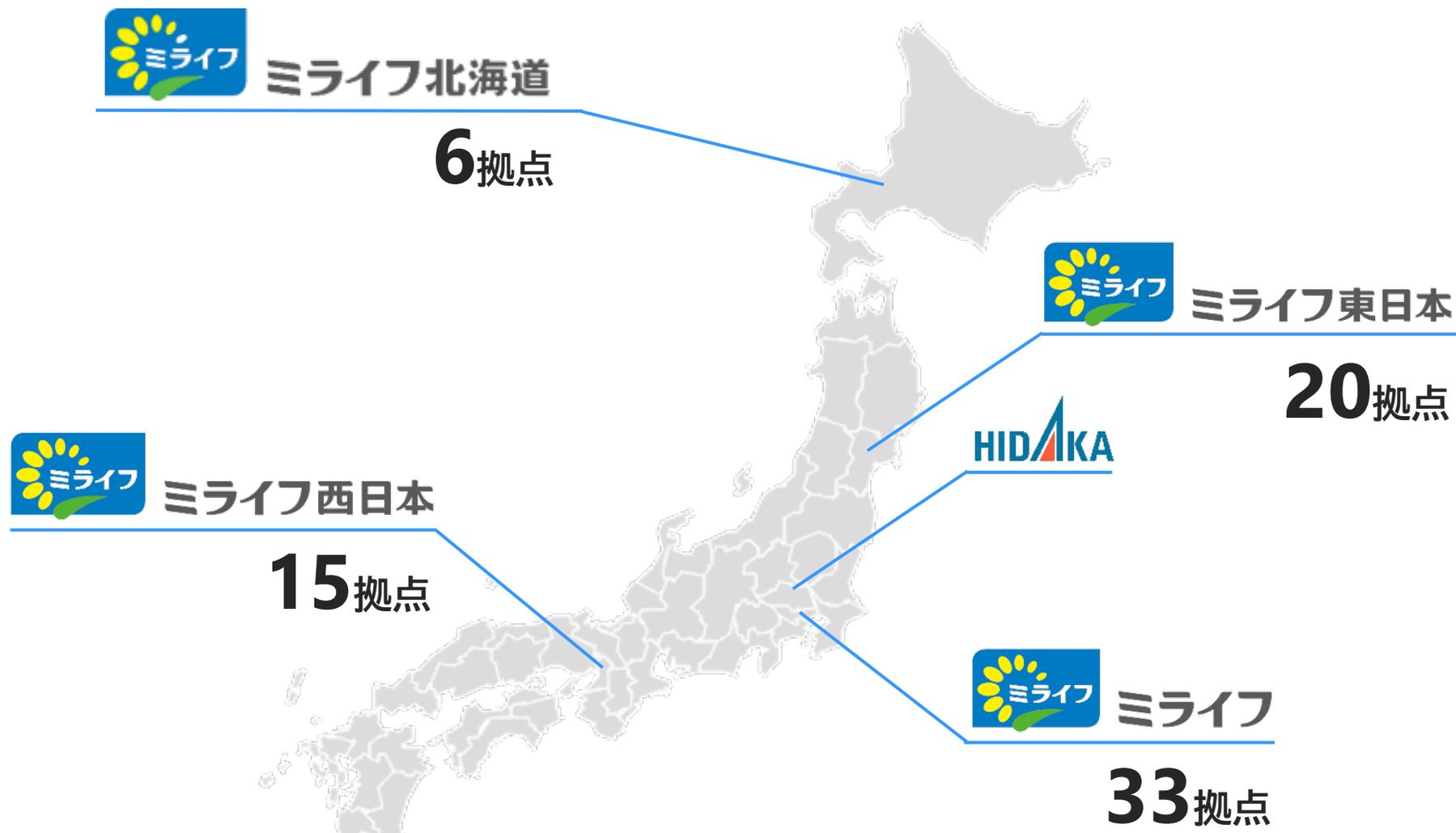
国内No.3※



※ 株式会社石油化学新聞社発行  
「2025年版 LPガス資料年報」より



## 東日本を中心に事業を展開、70以上の拠点網



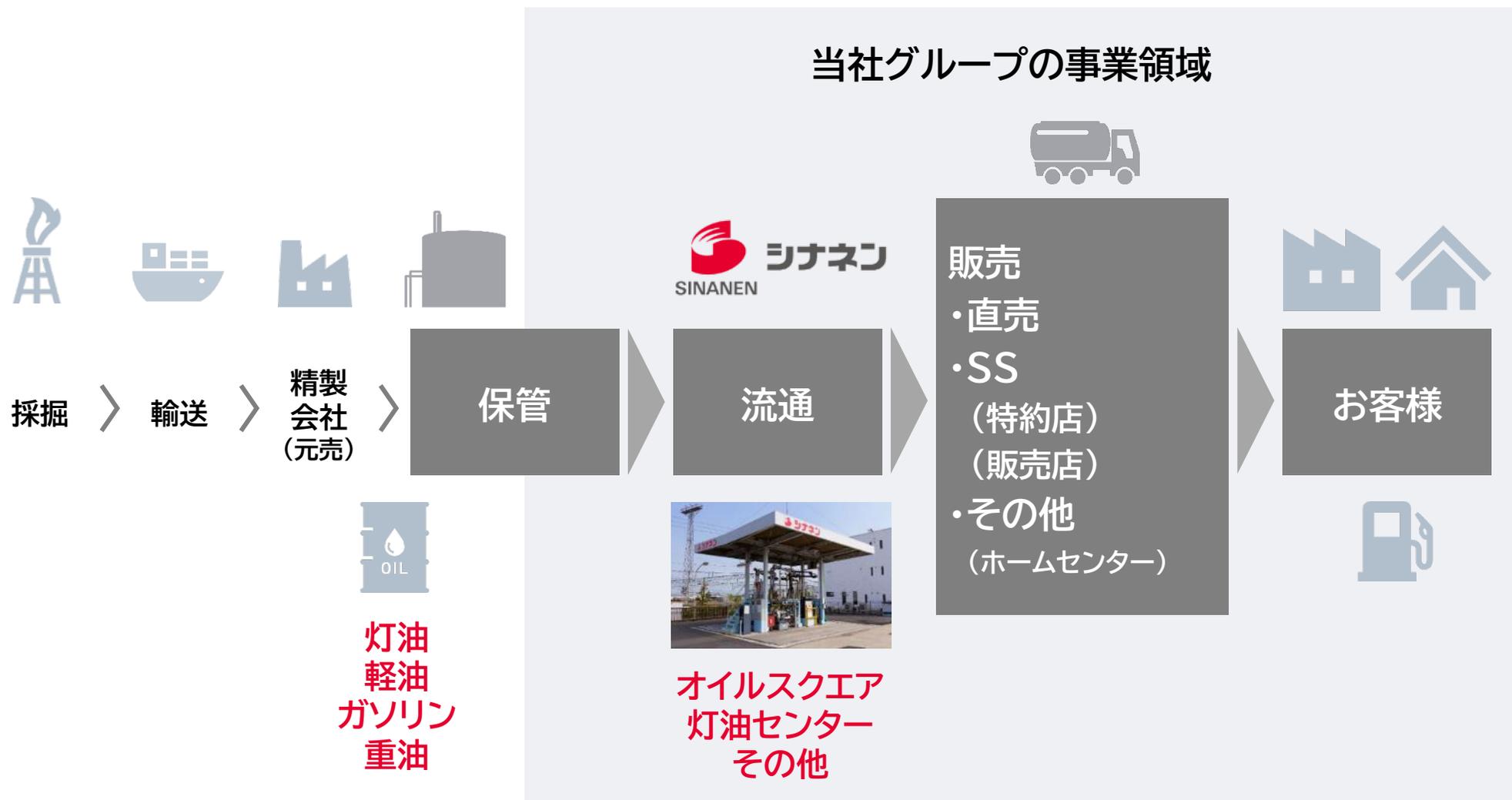
## 約900の会員(地域の販売店様や賛助会員様)で構成される顧客との接点

情報交換やLPガスに関する保安活動、販売促進に関する各種活動を実施



# 石油事業

# 法人需要家向けの販売に加え、SSやホームセンター等の小売販売を通じ石油製品を供給



# 灯油の流通拠点網に強み、79か所の石油中継基地「オイルスクエア・灯油センター」を配置



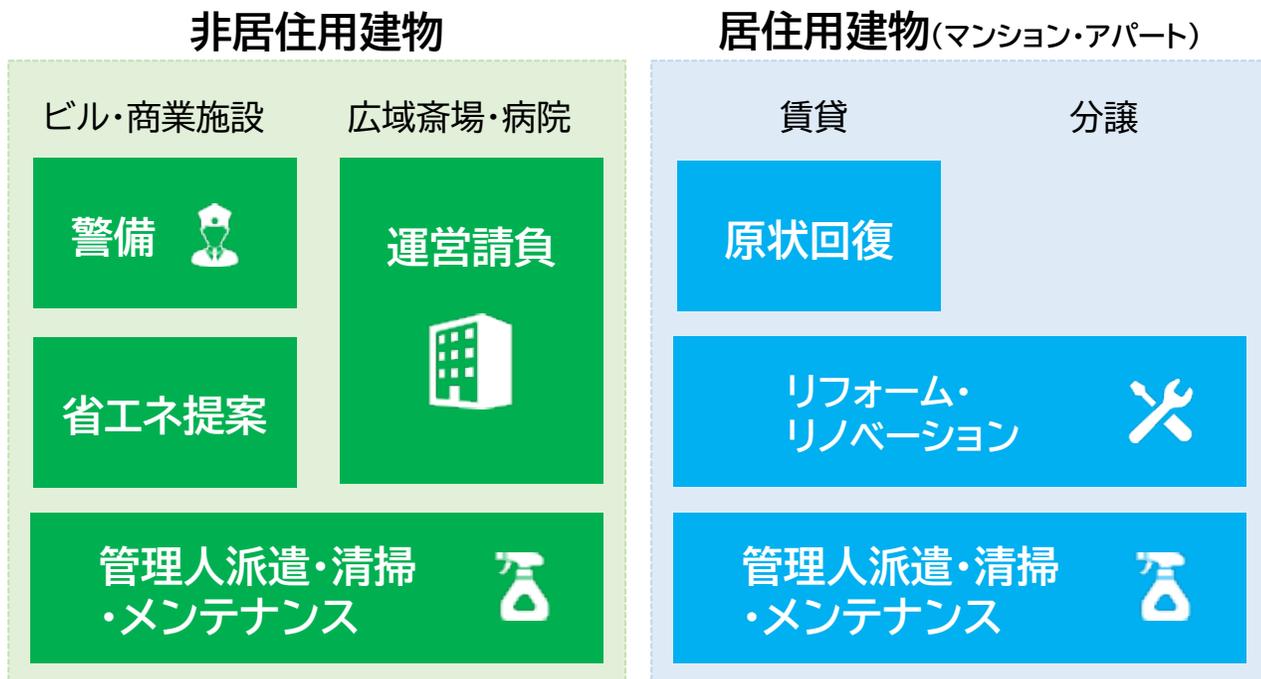
## 灯油の流通拠点網に強み。インフラ工事向けの軽油販売を強化中

灯油取扱量	約130万kl	国内流通量の約12%
軽油	災害復旧およびインフラ工事向けの供給を中心に、販売取組み強化中	
ガソリン	東北エリアに特化集中して、111か所のSSを展開(うち直営16か所)	
重油	国内工場向け販売とともに、国内・海外にて船舶用重油の販売を展開	

2025年3月末時点

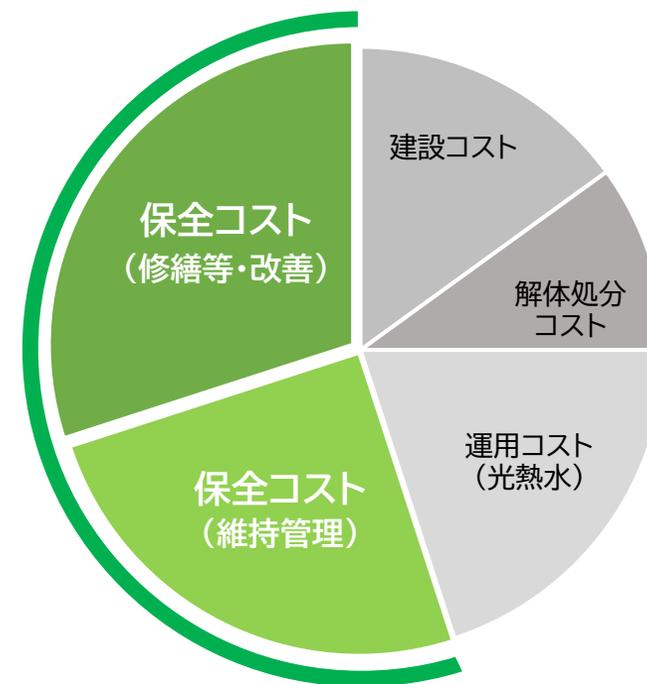
# 建物維持管理事業

# ビル・商業施設の管理・清掃、斎場・病院の運営請負、集合住宅のメンテナンス



管理物件数約 **5,300** 件

## 建物ライフサイクルコスト※ の大半が当社グループの事業領域

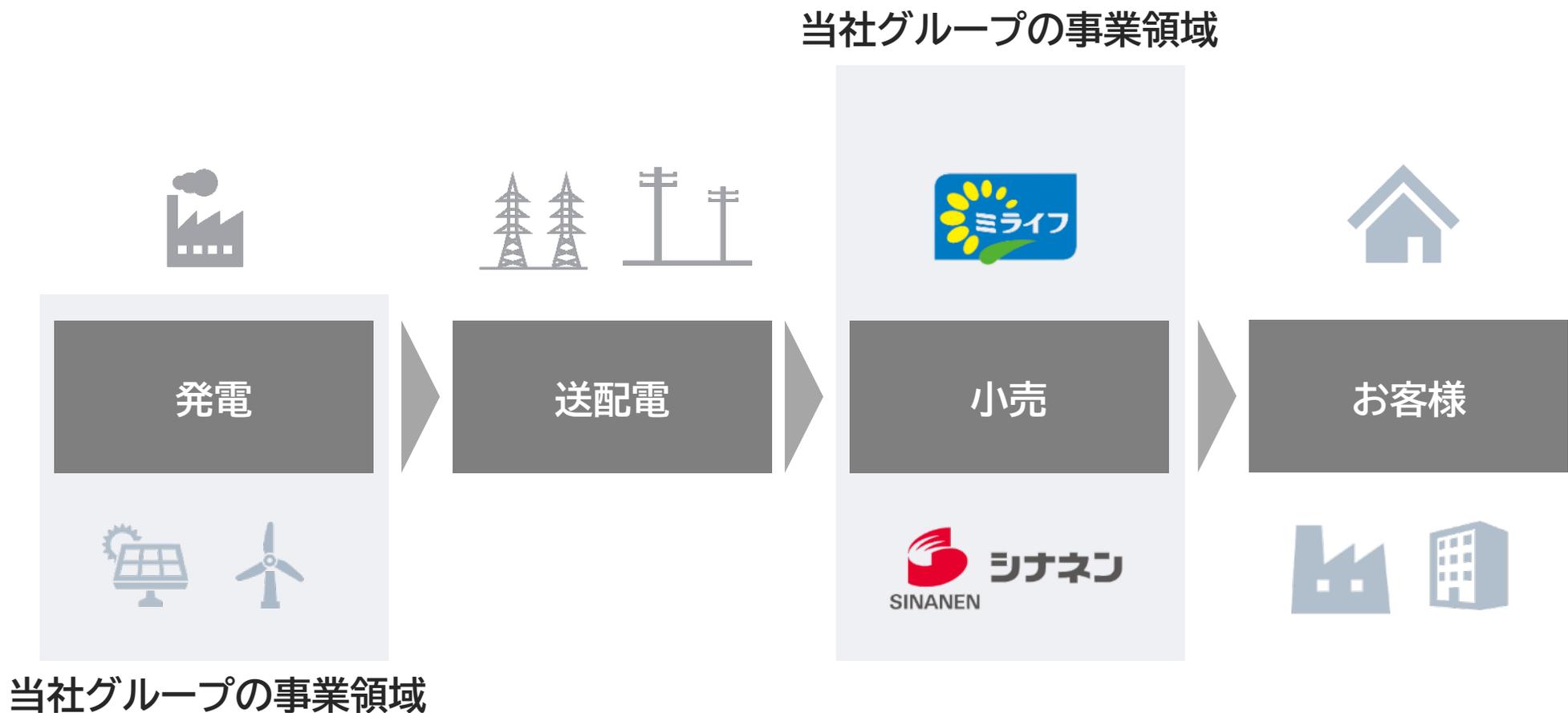


※ライフサイクルコスト  
建築物の企画・設計から解体までの間に発生する費用の合計

出典:国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(一財)建築保全センター  
『平成31年版 建築物のライフサイクルコスト』より当社推計

# 電力事業

## 小売電気事業者として事業を展開、太陽光発電・風力事業にも進出



## LPガスの顧客網も生かし、個人および法人への電力販売を拡大中

家庭向け電力(低圧)顧客	約 <b>50,000</b> 軒
法人向け電力(高圧)顧客	約 <b>1,800</b> 軒

2025年3月末時点

新電力販売量ランキング(事業者数約523社中):ミライフG 117位 シナネン 73位 ※2025年1月時点 新電力ネットより

## 太陽光発電や発電設備メンテナンスなど幅広く展開

太陽光発電	発電能力 約 <b>31</b> MW (約1万世帯分)	
太陽光メンテナンス	メンテナンス工事の品質向上、ネットワーク強化を目的にメンテナンスパートナー会を発足	

03

## その他事業

## 非エネルギー分野において、多彩な事業を展開

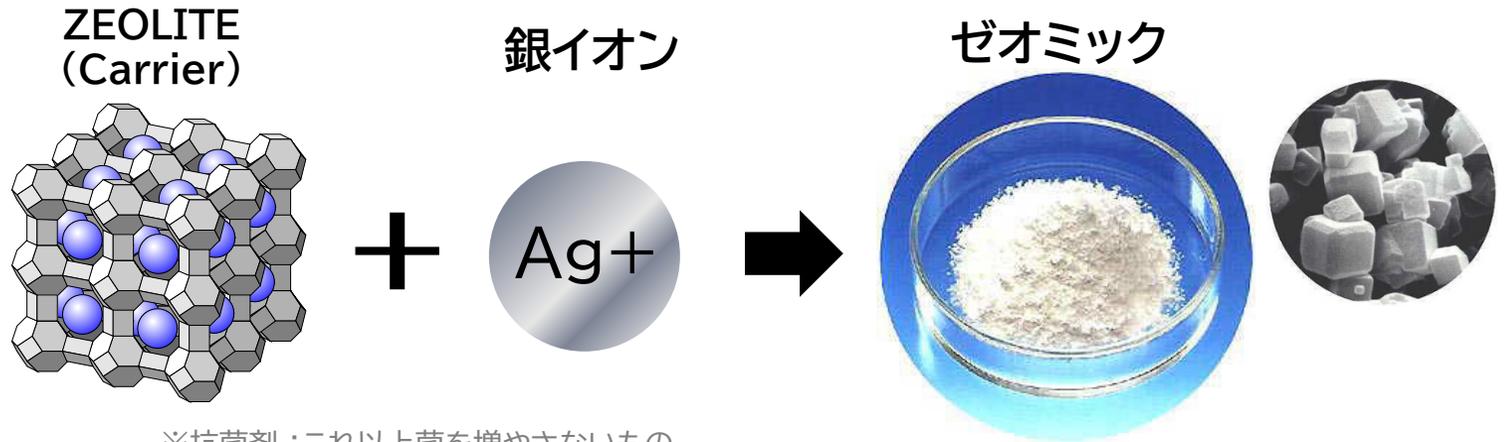
自転車事業	自転車小売店 「ダイシャリン」を運営	東北・関東に <b>37</b> 店舗
シェアサイクル事業	ステーション運営事業者として 自社サービス「ダイチャリ」を展開 	ステーション数 <b>4,000</b> 件超 自転車台数 <b>14,300</b> 台超
環境・リサイクル事業	木くずのリサイクル、 木質チップの製造・販売	チップ供給約 <b>6.5万</b> t/年
抗菌事業	抗菌性ゼオライト などの製造・販売	銀系無機抗菌剤国内 <b>No.2</b> ※
システム事業	LPガスの基幹業務システム・ 電力の顧客情報システムの開発・販売	顧客管理軒数 <b>900万</b> 超

# 銀系無機抗菌剤、消臭・吸着剤・機能性添加物の研究開発・製造・販売を行う



商号 株式会社シナネンゼオミック  
創業 1984年2月1日  
本社所在地 愛知県名古屋市港区中川本町1-1  
※地下鉄名港線「港区役所」から徒歩10分

ゼオライトを担体(Carrier)として活用し、無機物(銀イオン)や有機物を担持(担持)することで、抗菌性や吸着性などの機能を付加



※抗菌剤 : これ以上菌を増やさないもの  
※銀イオン : 抗菌作用があり、細菌やウイルスの増殖を抑制する効果があります



# 2025年3月期 業績ハイライト

# 2025年3月期は減収増益、2026年3月期は全体的な伸長を見込む

## 25/3 決算概要

- 電力事業の実施体制を見直し、大幅な収益改善により、黒字回復

## 26/3 業績予想

- エネルギー事業は、引き続き堅調推移を見込む
- 非エネルギー事業は、全体的に成長推進

## 今後の方針

- 引き続き、国内事業基盤の再整備とリテールサービス戦略強化を軸に、事業構造改革を推進
- 脱炭素社会の実現に向けた、新たな事業への取り組み

(単位:億円)	24/3 期末 実績	25/3 期末 実績	YoY	
			(額)	(率)
売上高	3,482	3,171	△311	△8.9%
売上総利益	323	391	+67	+21.0%
販売費及び一般管理費	330	351	+20	+6.3%
営業利益(△損失)	△7	40	+47	—
営業外収益	10	8	△1	△16.7%
営業外費用	2	4	+1	+61.1%
経常利益	0	44	+43	—
特別利益	2	0	△1	△87.0%
特別損失	3	9	+5	+153.3%
税引前利益(△損失)	△0	35	+35	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△10	31	+41	—

## 電力事業

市場連動型プランへの移行  
と管理体制の見直し寄与

固定資産の減損損失及び  
子会社株式売却損の計上

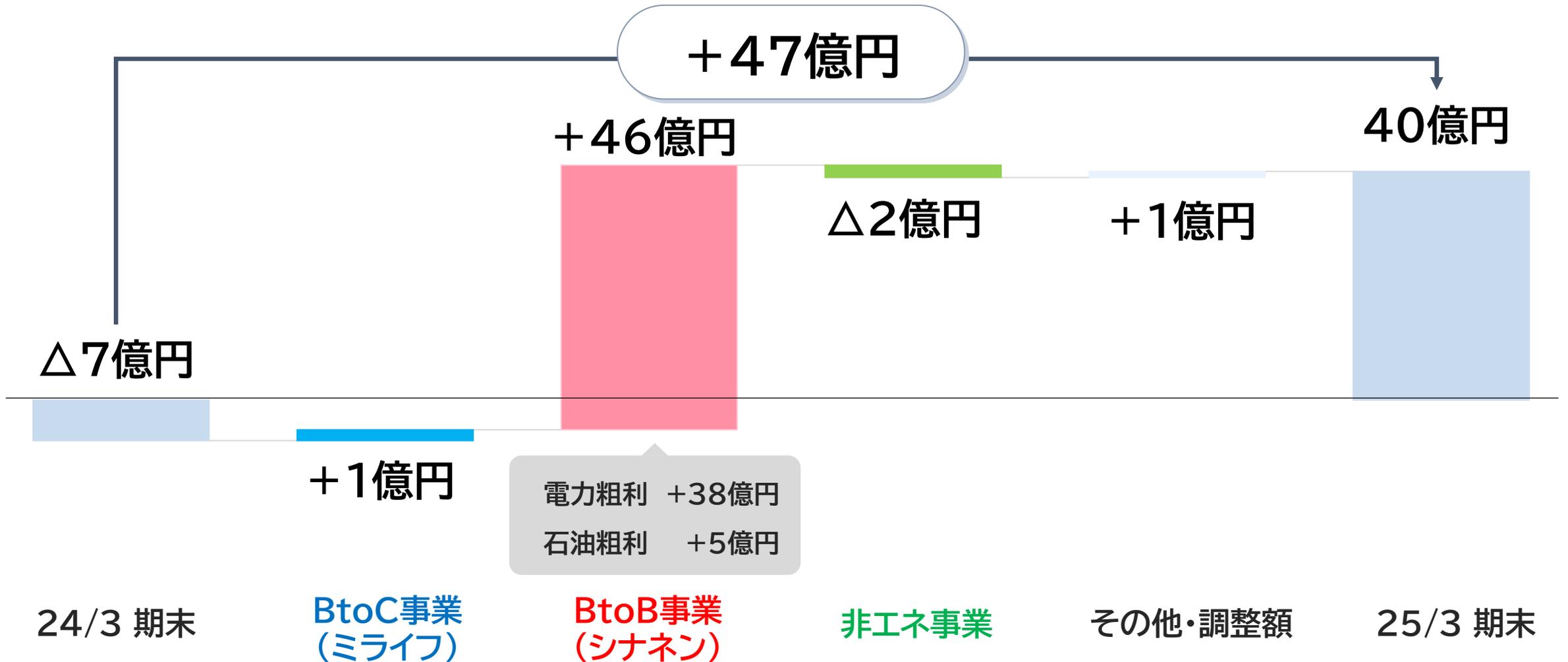
ROE 5.8%

(単位:億円)	24/3 期末	25/3 期末	YoY	
	実績	実績	(額)	(率)
<b>BtoC事業</b> (エネルギー卸・ 小売周辺事業)	750	<b>753</b>	+3	+0.4%
<b>BtoB事業</b> (エネルギー ソリューション事業)	2,525	<b>2,204</b>	△321	△12.7%
<b>非エネルギー 事業</b>	204	<b>211</b>	+6	+3.2%
その他・調整額	2	<b>2</b>	△0	△8.2%
<b>合計</b>	<b>3,482</b>	<b>3,171</b>	△311	△8.9%

電力のスキーム変更による販売数量が減少したことが影響

主にシェアサイクル事業と建物維持管理事業が影響

BtoB事業の電力事業において、市場連動型プランへの移行と管理体制の見直しにより「逆ザヤ」解消し黒字回復



## 24/3 期末

総資産1,084億円

(単位:億円)

現預金 <b>118</b>	有利子負債 <b>107</b>
その他流動資産 <b>535</b>	その他負債 <b>443</b>
有形固定資産 <b>282</b>	純資産 <b>533</b>
無形固定資産 <b>23</b>	自己資本比率 <b>49.1%</b>
投資その他の資産 <b>125</b>	

## 25/3 期末

総資産1,059億円

(単位:億円)

現預金 <b>119</b>	有利子負債 <b>40</b>
その他流動資産 <b>509</b>	その他負債 <b>466</b>
有形固定資産 <b>278</b>	純資産 <b>552</b>
無形固定資産 <b>21</b>	自己資本比率 <b>52.1%</b>
投資その他の資産 <b>130</b>	

### 主な変動要因

#### 借方

##### 流動資産

仕掛品の減少(△8億円)

未収消費税・未収還付法人税等の減少(△9億円)

#### 貸方

##### 流動負債

買掛金の増加(+18億円)

賞与引当金の増加(+10億円)

短期借入金の減少(△63億円)

業績回復により税金等調整前当期純利益が増加し、短期借入金が減少

(単位: 億円)	24/3 実績	25/3 実績	YoY	
			(額)	(率)
営業活動によるCF	△9	105	+114	—
投資活動によるCF	△16	△27	△10	+65.7%
財務活動によるCF	42	△75	△118	—
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	16	1	△15	△92.6%
現金及び現金同等物の 期首残高	99	115	+16	+16.7%
現金及び現金同等物の 期末残高	115	117	+1	+1.1%

税金等調整前当期純利益 …… +35億円  
 子会社株式売却損 …… +5億円  
 売上債権の減少 …… +36億円

保険積立金の払戻による収入 …… △9億円  
 連結の範囲の変更を伴う  
 子会社株式の売却による支出 …… △1億円

短期借入金の減少 …… △117億円

# 05

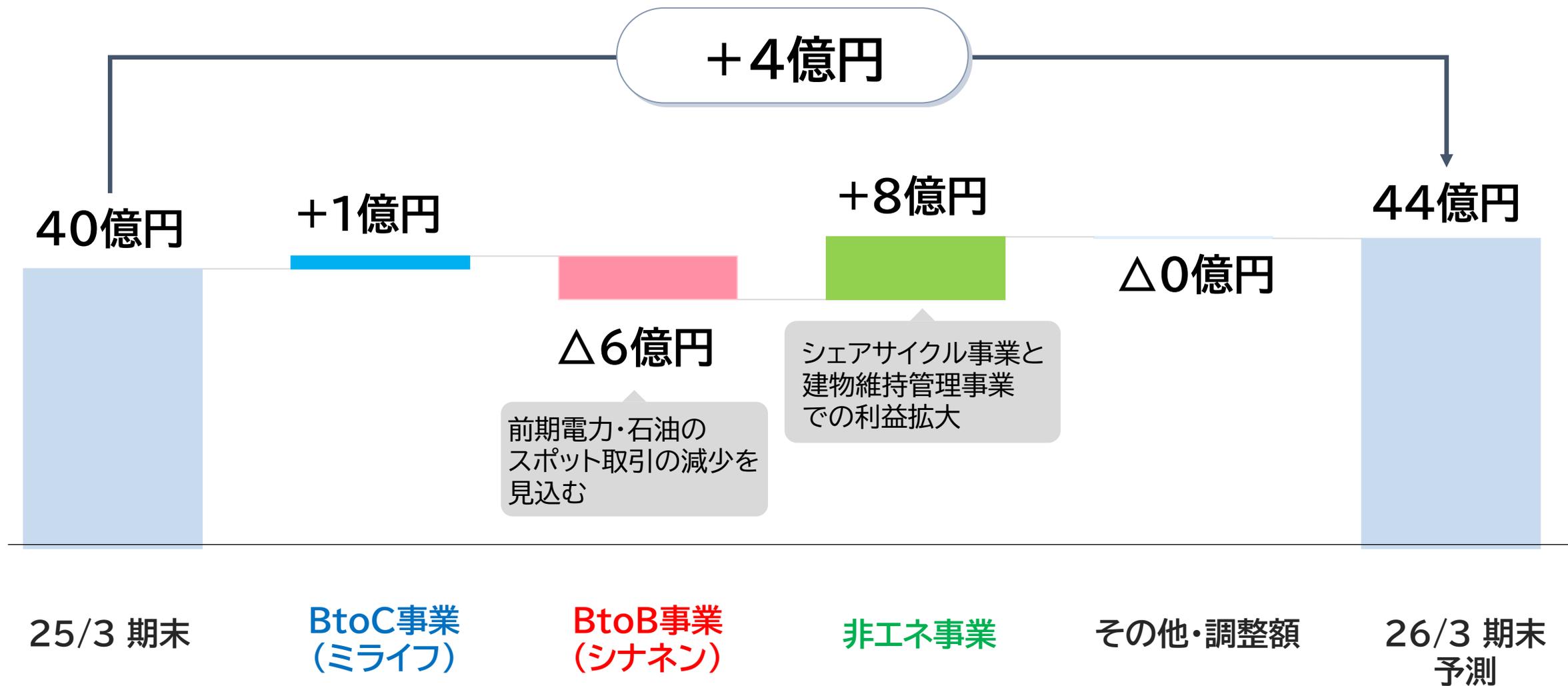
## 2026年3月期 通期業績予想

(単位:億円)	25/3 実績	26/3 予想	YoY	
			(額)	(率)
売上高	3,171	3,673	+501	+15.8%
営業利益	40	44	+3	+9.7%
経常利益	44	49	+4	+9.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	31	30	△1	△4.9%

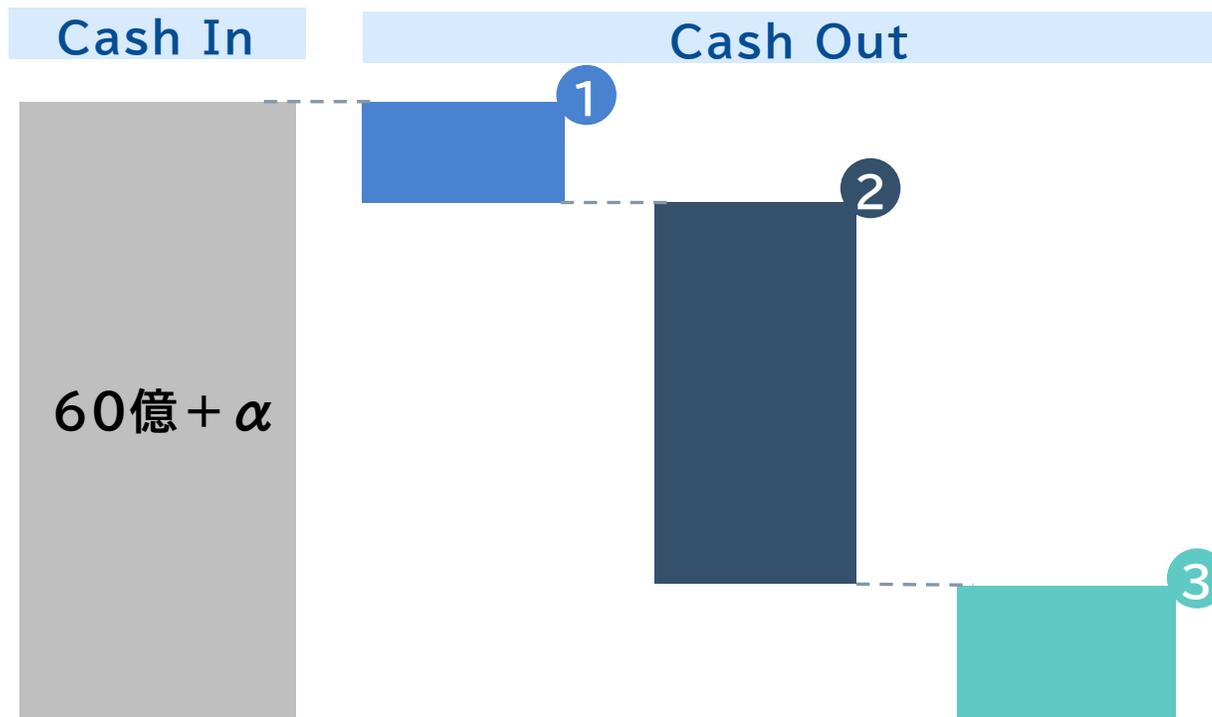
### 利益面について

前期におけるスポット取引の減少はあるものの、主力のLPガス・石油事業の強化及び、非エネルギー事業において収益規模・収益力の拡大を見込む

エネルギー事業は堅調推移を見込む／非エネルギー事業は、全体的に成長推進



キャッシュフロー収益力向上と、ポートフォリオ更新によりキャッシュ創出を拡大  
財務健全性を維持しつつ、株主還元と投資の最適配分を図る



- 1 配当(配当性向30%以上)
- 2 オーガニックグロース(既存投資拡充)
  - ・ リテールビジネス(ハウスクエア強化等)
  - ・ 商圏買収
  - ・ 更新投資(設備)
  - ・ システム開発(受発注)、物流効率化
  - ・ 人財育成
  - ・ 電力関連投資(CPPA等)
  - ・ シェアサイクル関連投資
- 3 新規投資等(脱炭素、戦略投資、追加還元)

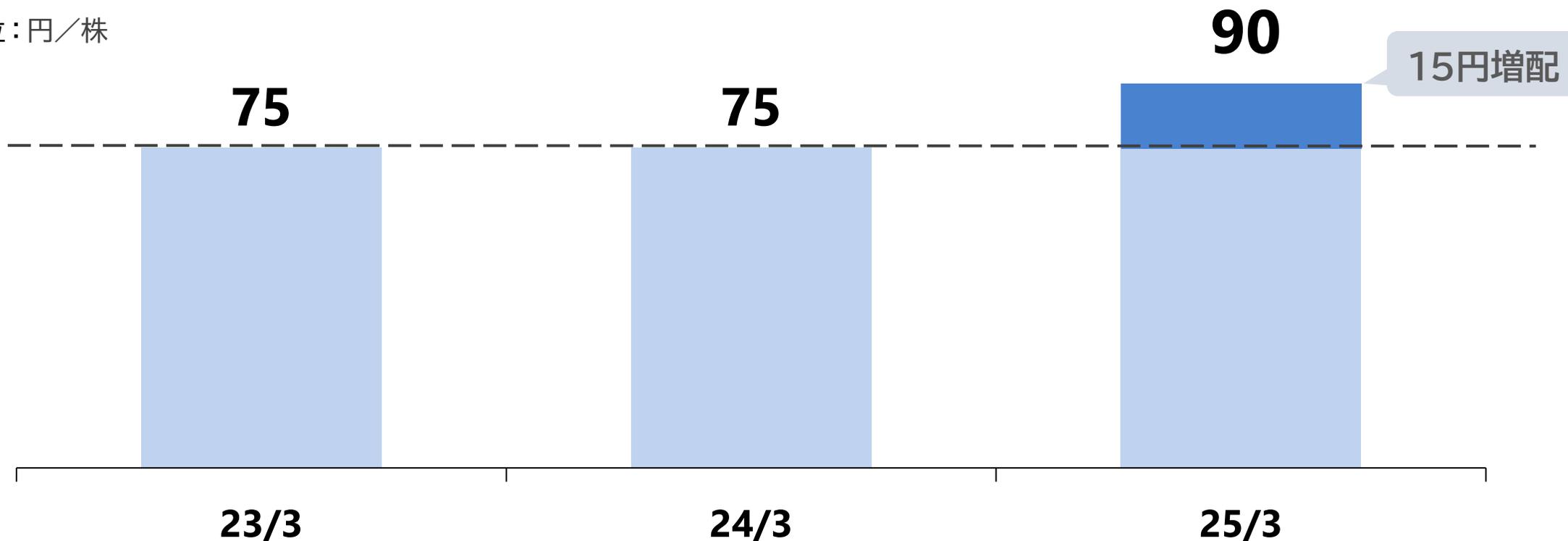
株主還元と投資を最適に配分し、株主資本コストを上回る高いROEを継続的に実現できる  
事業ポートフォリオ(=PBR>1.0以上)への変革を目指す

06

# 株主還元

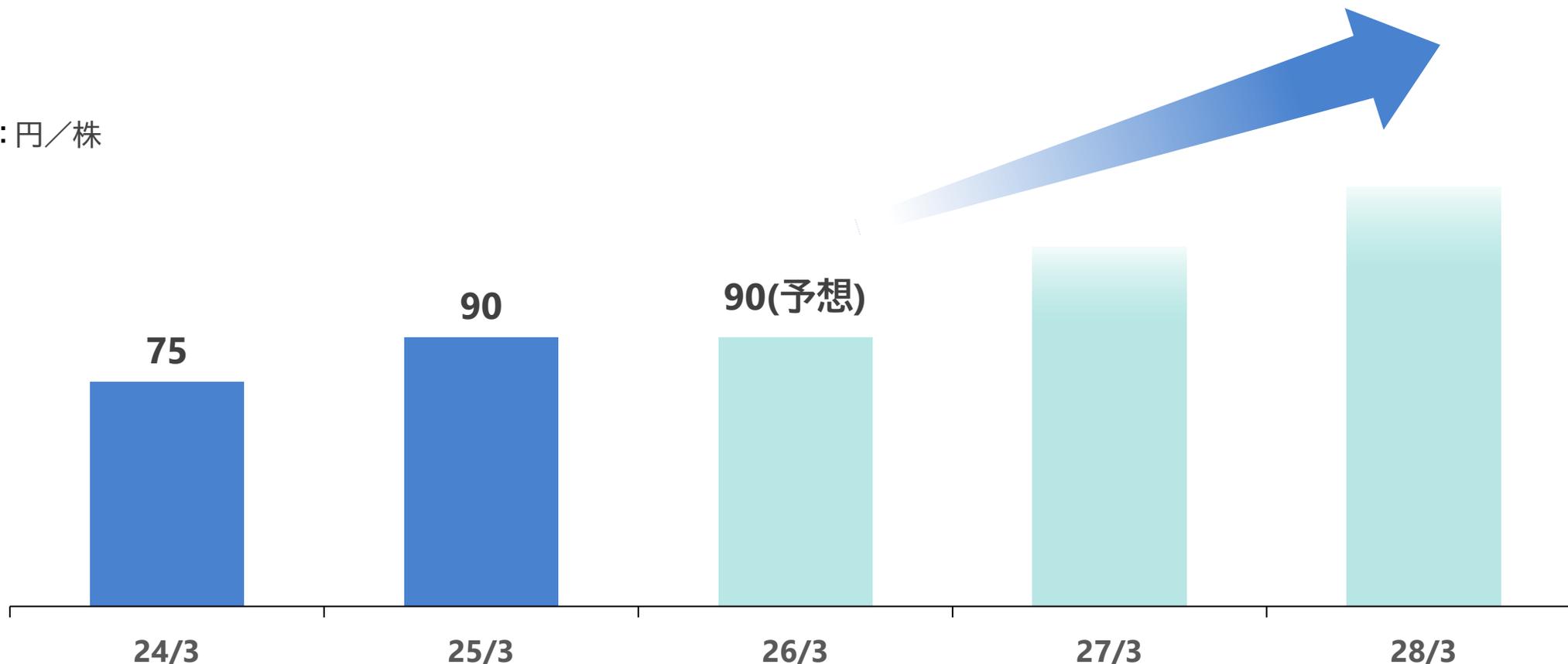
2025年3月期 1株当たり配当: **90円** (前期比15円増配)

単位:円/株



- ◆ 基礎収益力の向上、継続的な財務基盤の強化、持続的成長のための投資資金の確保などを勘案し、以下方針を堅持  
配当性向30%を目安に、安定配当を維持しつつ中期的には40%への引き上げを目指す
- ◆ 配当の更なる安定性向上及び、利益成長に応じた増配に向けて、累進配当を含めた還元策の拡充を検討

単位：円／株



07

## 今後の方針

## 2026年4月1日付で主力事業4社を経営統合し、新会社を設立

～2026年3月期

2027年3月期～



# 「ユーザーファースト」と「品質」をテーマに、 地域のお客様目線でサービスを提供する体制づくりを推進

## 01

当社グループの事業を  
一定のエリアで連携・融合

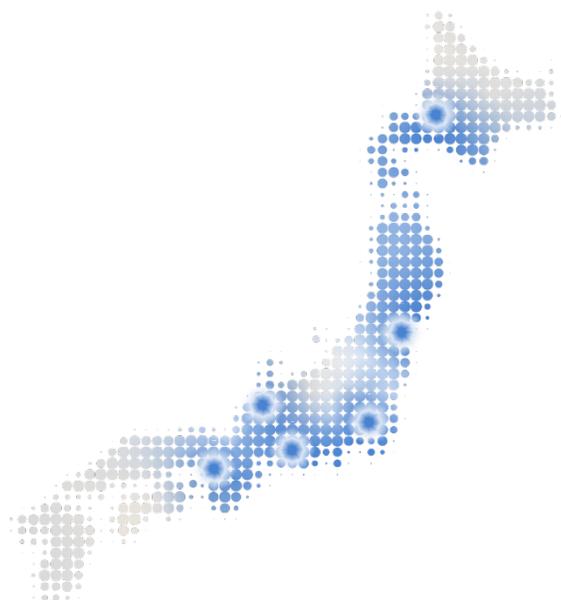
地域に根ざした高品質なサービスを提供する体制を構築



## 02

既存の地域拠点を介し、  
様々なサービスを提供する体制を構築

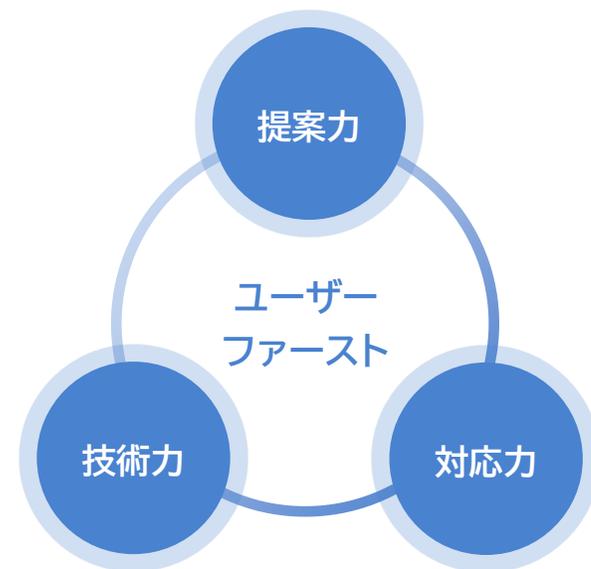
グループが持つネットワークを  
戦略的に活用



## 03

ユーザーファーストを基点に  
次世代を担う人財を育成

エネルギーを提供する会社から、地域が  
求めるサービスを提供する会社へ



08

# Appendix

## 08 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	2024/3	2025/3	増減
<b>流動資産</b>	<b>65,410</b>	<b>62,862</b>	<b>△2,547</b>
現金及び預金	11,841	11,919	+77
受取手形	661	605	△56
売掛金	39,208	39,040	△167
商品及び製品	6,504	6,884	+379
仕掛品	1,325	429	△896
原材料及び貯蔵品	39	24	△14
その他	5,938	4,003	△1,935
貸倒引当金	△110	△45	+64
<b>固定資産</b>	<b>43,070</b>	<b>43,072</b>	<b>+2</b>
有形固定資産	28,228	27,885	△343
無形固定資産	2,326	2,183	△142
投資その他の資産	12,515	13,003	+488
<b>資産合計</b>	<b>108,480</b>	<b>105,934</b>	<b>△2,545</b>

科目	2024/3	2025/3	増減
<b>負債</b>	<b>55,164</b>	<b>50,704</b>	<b>△4,460</b>
流動負債	46,723	43,248	△3,474
固定負債	8,440	7,455	△985
<b>純資産</b>	<b>53,315</b>	<b>55,230</b>	<b>+1,915</b>
株主資本	50,120	52,450	+2,329
資本金	15,630	15,630	-
資本剰余金	7,756	7,711	△44
利益剰余金	32,202	31,821	△381
自己株式	△5,468	△2,712	+2,755
その他の包括利益累計額	3,176	2,759	△416
非支配株主持分	19	20	+1
<b>負債純資産合計</b>	<b>108,480</b>	<b>105,934</b>	<b>△2,545</b>

(単位:百万円)

	24/3 期末		25/3 期末		増減額	増減率
	売上高比		売上高比			
売上高	348,282	100.0	317,118	100.0	△31,164	△8.9%
売上原価	315,899	90.7	277,940	87.6	△37,958	△12.0%
売上総利益	32,383	9.3	39,177	12.4	+6,794	+21.0%
販売費及び一般管理費	33,095	9.5	35,168	11.1	+2,073	+6.3%
営業利益(△損失)	△711	△0.2	4,009	1.3	+4,721	—
営業外収益	1,057	0.3	881	0.3	△176	△16.7%
営業外費用	252	0.1	407	0.1	+154	+61.1%
経常利益	93	0.0	4,483	1.4	+4,389	—
特別利益	225	0.1	29	0.0	△196	△87.0%
特別損失	389	0.1	987	0.3	+597	+153.3%
税引前利益(△損失)	△70	△0.0	3,525	1.1	+3,596	—%
法人税等	961	0.3	370	0.1	△591	△61.5%
非支配株主に帰属する当期純利益	6	0.0	1	0.0	△5	△82.2%
親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△1,039	△0.3	3,153	1.0	+4,193	—

## 直近の株価は高値圏で推移



- 本資料にはシナネンホールディングス株式会社(以下、当社)の計画、方針、経営戦略などといった、将来に関する記述があります。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく予測、計画等を基礎として作成しているものであり、不確定要素を多く含んでいます。従いまして、様々なリスクや変動要因により、実際には本資料の記述と大きく異なる結果となる可能性があります。
- 実際に投資を行う際には、本資料の情報のみによる投資判断はお控えいただき、投資に関する判断は皆様ご自身で行うようお願い致します。投資に関して生じたいかなる損失に対し当社が責任を負うものではありません。

## 本資料に関するお問い合わせ

シナネンホールディングス株式会社  
財務IR部 IR・SRチーム



ir@sinanengroup.co.jp